

目次

第1章 基本構想の策定にあたって	1
第2章 子育てを取り巻く環境	3
1. 子どもたちを取り巻く動向・社会潮流	3
2. 加西市の子育てに関する現状	4
3. 市民ワークショップ	14
4. 加西市の子育てに関する課題	22
第3章 施設の目指す姿	23
1. 基本コンセプト	23
2. 導入機能	26
第4章 建設候補地の検討	30
第5章 未来型児童館の事業スキーム	36

第1章 基本構想の策定にあたって

少子化や核家族化の進行、女性の社会進出による共働き家庭の増加、地域の相互扶助機能の弱体化などにより、子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。こうした社会変化は、子ども同士の交流機会の減少をもたらし、保護者の子育てに対する不安や悩み、孤立感による育児ストレスなどを招いています。

わが国では、「こどもまんなか社会」の実現に向けてこども家庭庁を創設するなど、こども政策の推進を重視した政策を実施しています。具体的には、こどもの視点で、子どもを取り巻くあらゆる環境を視野にいれ、子どもの権利を保障し、子どもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しする方向を目指しています。

加西市では、子育て世帯の経済負担を軽減し、「子育て世代にやさしいまち」を目指して、令和4年度から「加西市子育て応援5つの無料化！」を実施しており、さらなる子育て環境の充実に向けて、子どもたちや子育て世代のニーズに合わせ必要な支援を選択し利用できる、加西市の子ども・子育ての総合的な拠点施設として「(仮称)加西市未来型児童館(以下「未来型児童館」という。)」の整備を予定しています。

本基本構想は、未来型児童館の整備に向けて、加西市における子ども・子育てを取り巻く現状と課題を踏まえ、本施設に求められる役割を再整理し、現状の加西市における子育て環境として必要な機能や施設内容についてとりまとめるために策定するものです。



各段階での検討事項

加西市では未来型児童館の検討を令和3年1月より実施しています。未来型児童館に関する検討の経緯は以下のとおりです。

未来型児童館の検討経緯

日時	会議体	検討概要
令和3年 1月27日	第1回未来型児童館WG	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総計、アクションプランに基づき整備目標年次を令和6年に設定。 地域子育て支援拠点事業(キッズ)、利用者支援事業(療育)、ファミサポ事業を児童館に集約。 立地場所は玉丘史跡公園。
2月18日	令和2年度 第2回子ども子育て会議	<ul style="list-style-type: none"> 未来型児童館の整備計画(案)R3.1.27について提案。
4月23日	第2回未来型児童館WG	<ul style="list-style-type: none"> 「未来型児童館の受け持つ機能」をテーマに実施。
5月17日	第3回未来型児童館WG	<ul style="list-style-type: none"> 「未来型児童館とは」「未来型児童館が担う機能」をテーマに実施。
5月21日	定例教委事前協議	<ul style="list-style-type: none"> 加西 STEAM 教育の推進・・・幼児期からのものづくり体験や科学的な体験の充実、小学校・中学校での各教科や総合的な学習の時間における教科横断的な学習や探求的な学習、プログラミング教育などの充実に努める。
5月27日	第4回未来型児童館WG	<ul style="list-style-type: none"> 「各機能に必要な床面積、施設配置」をテーマに実施。 整備場所は、健康福祉会館の拡張と増改築案、玉丘史跡公園内でのセンター機能型児童館の新設案の2か所。
6月3日	教育委員会内 未来型児童館WG 検討状況報告	<ul style="list-style-type: none"> STEAM 教育に取り組めるようソフト面だけでなくハード面でも考えておく。 外観はシンボリックなものに。
6月8日	第5回未来型児童館WG	<ul style="list-style-type: none"> 「各機能に必要な床面積、施設配置」「開設場所」をテーマに実施。 健康福祉会館拡張と増改築案、玉丘史跡公園内でのセンター機能型児童館の新設案に対する意見交換を実施。
6月21日	第6回未来型児童館WG	<ul style="list-style-type: none"> 「WG案とりまとめ」をテーマに実施。
6月22日	第6回定例教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> 未来型児童館WG検討状況について報告。
9月8日	第7回未来型児童館WG	<ul style="list-style-type: none"> 「アンケート設問」「実施方法」をテーマに実施。
9月8日	第1回加西 STEAM 教育 オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> 未来型児童館を STEAM 教育の拠点としても活用していくことを検討していく。
9月21日	第8回未来型児童館WG	<ul style="list-style-type: none"> 「アンケート設問」「子ども子育て会議への検討状況報告」をテーマに実施。
10月11日	第9回未来型児童館WG	<ul style="list-style-type: none"> 「アンケート設問」「子ども子育て会議への検討状況報告」をテーマに実施。
10月18日	令和3年度 第1回子ども子育て会議	<ul style="list-style-type: none"> 設置場所、施設規模、意向把握のためのアンケート設問の概略説明を実施。
11月25日	令和3年度 第2回子ども子育て会議	<ul style="list-style-type: none"> 前回の検討状況報告の補足説明。
令和4年 2月21日	令和3年度 第3回子ども子育て会議	<ul style="list-style-type: none"> 検討状況報告と意見交換。

第2章 子育てを取り巻く環境

1. 子どもたちを取り巻く動向・社会潮流

1) 国の子育てに関する動向

国の子ども・子育て支援については、「少子化社会対策基本法」(2003(平成15)年)等に基づき、総合的な施策が講じられてきており、近年では以下のような動向があります。

- 「こども家庭庁設置法」「こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律」が成立
- 一連の成長過程において、良質かつ適切な保健、医療、療育、福祉、教育の提供、安全で安心して過ごせる多くの居場所を持ちながら、様々な学びや体験ができる、全ての子どもが、施策対象として取り残されることなく、当事者として持続可能な社会の実現に参画できるよう支援
- 主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点から学習指導要領を改訂
- 文部科学省より GIGA スクール構想、学校教育における STEAM 教育など教科横断的な学習が進行
- 児童館ガイドラインの改正(相談対応や情報提供の充実、全てのこどもの居場所づくりの拠点)

2) 県の子育てに関する動向

兵庫県では、新学習指導要領に基づき幼児教育から高等教育までの各学校段階間の接続を重視しながら、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成することが求められており、近年では以下のような動向があります。

- 科学技術人材育成のための理数教育の充実やプログラミング教育、兵庫型「体験教育」の新展開など「生きる力」を育む教育の充実
- ICT 等の先進的な学習基盤の整備や社会教育施設の充実などの学習環境のハード的な整備とともに、シニアなど多様な担い手、企業、NPO、地域コミュニティ等との地域全体の協働による子育ての推進

3) 社会潮流

新型コロナウイルス感染症の発生、子どもの貧困、生活様式等の変化、教育の ICT 化など社会の急速な変化がみられます。

- 新型コロナウイルス感染症の発生による健康への影響、長引く学びの機会喪失に伴う育ちへの影響、中程度以上のうつ症状がある子どもの増加
- 子どもの貧困率の増加
- 子育て相談相手の不足、児童虐待の増加
- IoT、ビッグデータ、AI 等の急速な発達(超スマート社会(Society5.0)の到来)

2. 加西市の子育てに関する現状

1) 人口動態

(1)人口の推移

加西市では慢性的な人口流出が続いており、1986(昭和 61)年度の 53,056 人をピークとして人口減少が続いています。また、2020(令和2)年の国勢調査では 65 歳以上人口割合が 33.8%、年少人口割合は 10.8%と少子高齢化も進行しています。

国立社会保障・人口問題研究所が示す将来推計人口では、将来にわたっても減少傾向が続く予想が示されています。



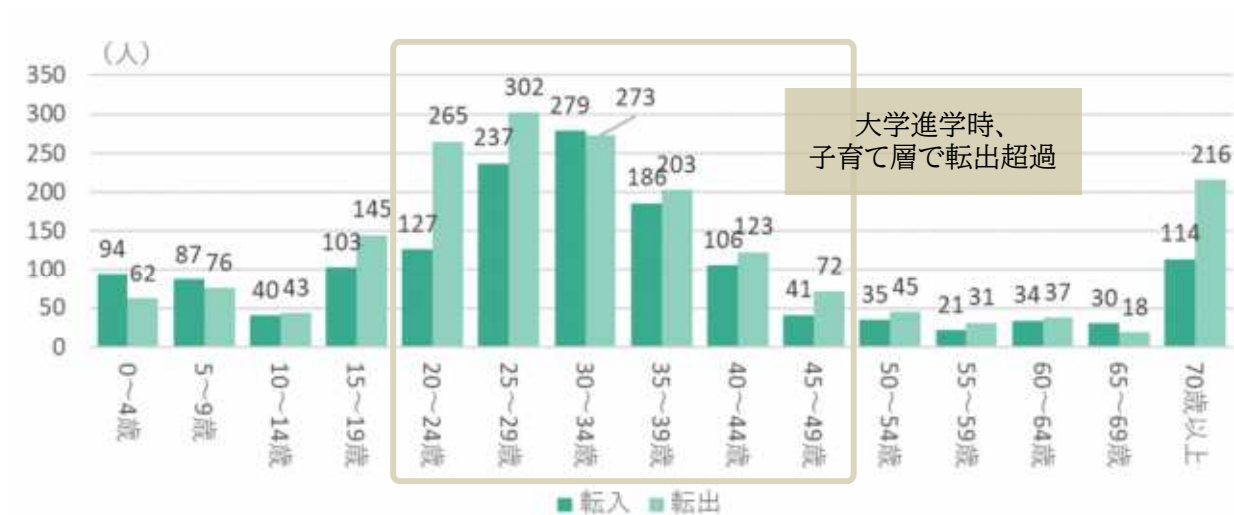
資料:国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成 30(2018)年)推計

加西市の国による将来推計人口

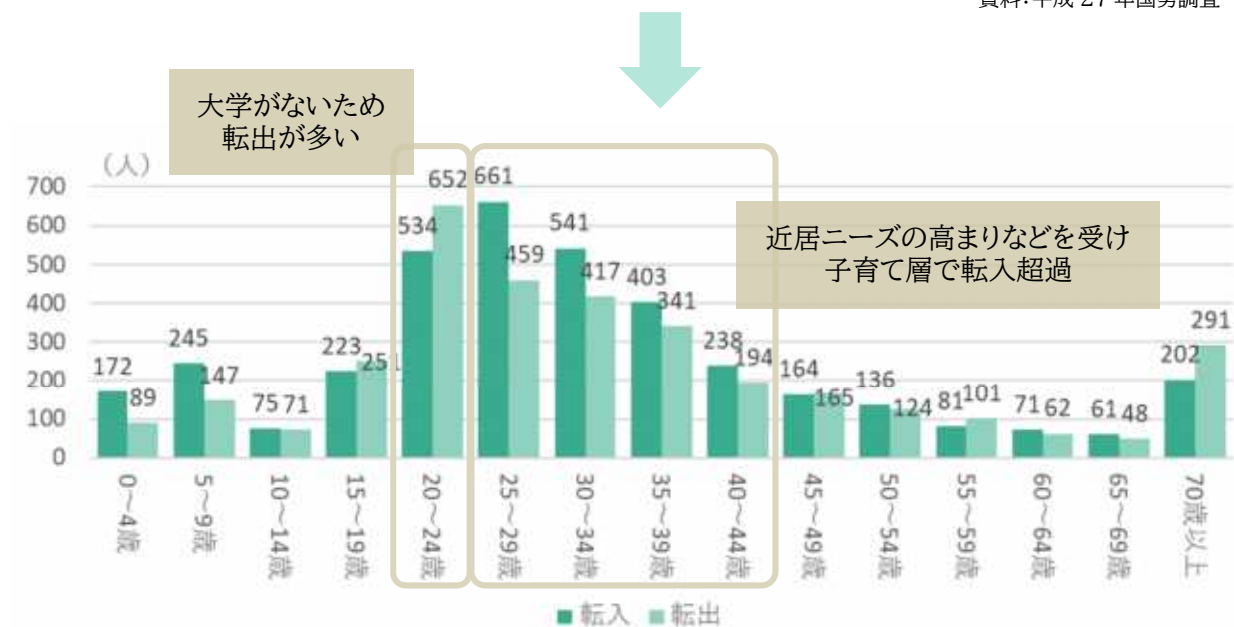
(2)社会動態

加西市子育て応援5つの無料化により子育て世帯の経済負担を軽減しており、子育て層は増加していますが大学への進学タイミングで15～24歳が流出している状況です。

しかしながら、近年の親子の近居ニーズの高まりなどを受けて、近年は20歳代後半～40歳代の子育て層が転入超過となっており、5つの無料化によりこの流れを維持していく必要があります。



資料：平成 27 年国勢調査



資料：令和2年国勢調査

年代別転出入の状況

(3)出生率

加西市の合計特殊出生率は、1985(昭和 60)年時点の 2.02 より減少傾向で推移しており、2020 (令和2)年では 1.17 となっており、2010(平成 22)年以降は全国及び兵庫県を下回る水準が続いています。



資料:加西市統計書

合計特殊出生率の推移 (兵庫県及び全国との比較)

2) 加西市における特徴的な子育て支援に関する取組

(1)5つの無料化

加西市では、子育て世帯の経済負担を軽減し、「子育て世代にやさしいまち」を目指して、加西市は令和4年度から「加西市子育て応援5つの無料化！」を実施しています。

【5つの無料化】

■小・中学校、特別支援学校の給食、無料

- 令和4年4月から市内の学校給食を、所得にかかわらず無料

■高校3年生までの医療費、無料

- 18歳までの児童、生徒の医療費が、所得にかかわらず無料
- 医療機関等の窓口で受給者証を健康保険証と一緒に提示することで、保険診療の自己負担額が外来・入院ともに無料となる

■0歳から5歳まで保育所・認定こども園の保育料、無料

- すでに無料化していた3歳児から5歳児に加え、令和4年10月から所得にかかわらず、市内居住0～2歳児の保育料を無料化
- 認可外保育所を利用する0～2歳児には42,000円を上限に補助

■保育所・認定こども園の副食費、無料

- 国の保育料無償化に合わせて、市独自で公私立幼保施設の給食費（副食費）を無料化
- 市内居住者で市外の園に通われる子どもも対象で1人当たり月額4,500円が上限（主食費（ごはん）は対象外）

■病児病後児保育料、無料

- 令和4年4月から加西市に居住する児童の病児病後児保育料が無料

(2)教育

加西市では正解のない問題に挑戦、多様な他者と協働、新しい価値を創造する3C「次世代型人材」を育成することを目標に、全国においても先駆けとなっている「加西 STEAM」をスタートさせています。



資料:加西市(<https://www.city.kasai.hyogo.jp/site/kyoiku/22668.html>)

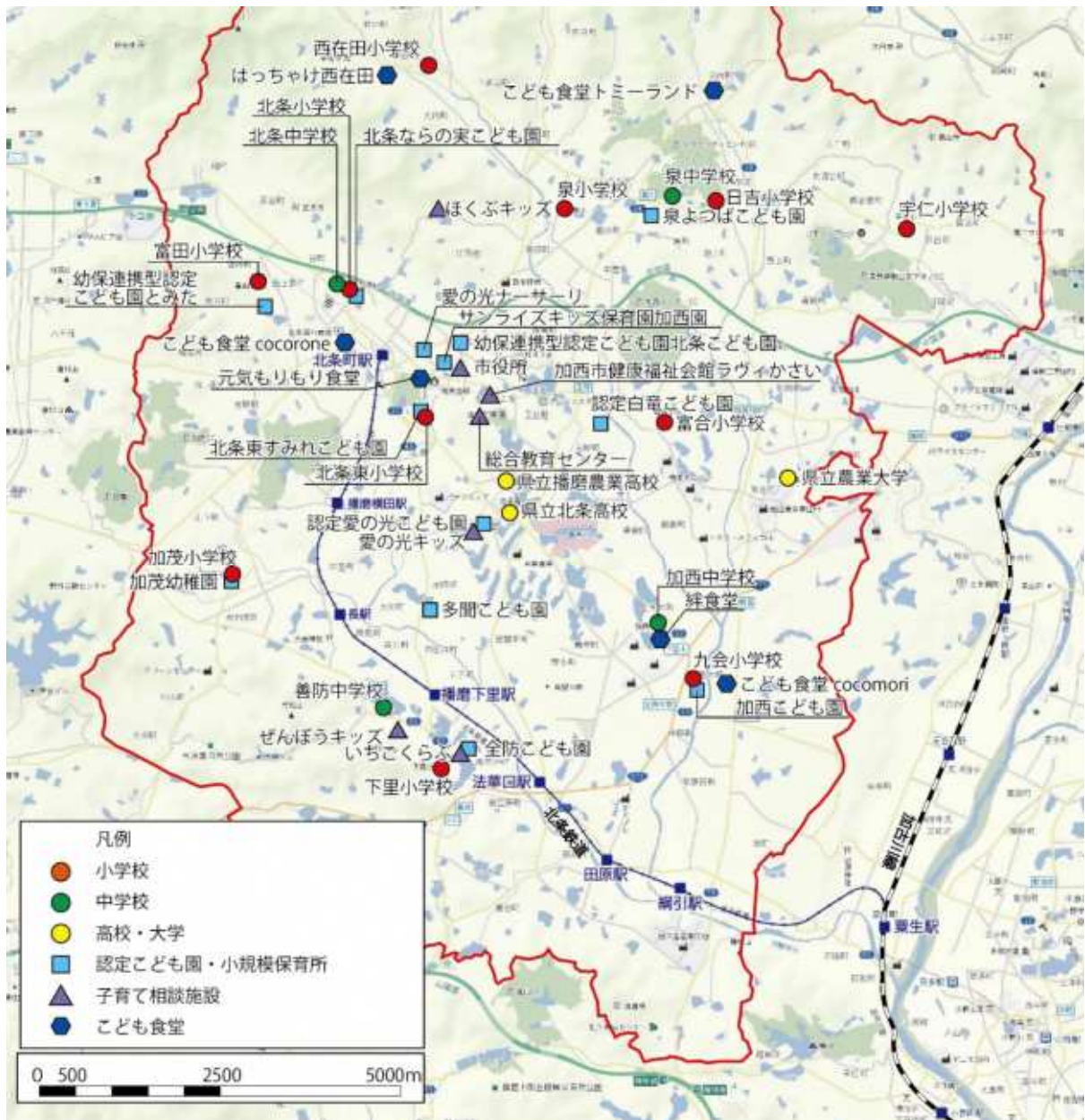
加西 STEAM 教育の考え方

3) 子育て支援施設

(1) 施設の立地状況

加西市の子育て支援施設は、北条町駅周辺に集積して立地しています。つどいの広場や親子で遊べる遊戯施設とテレワークセンターが融合したかさいこども広場&パパママオフィス「アスモ」など、乳幼児の相談や遊び場等の施設は多い状況です。

一方、小中学生以上の児童・生徒が室内で活動できる施設は少ない状況です。



出典:© NTT インフラネット

※© NTT インフラネットの図をもとに類似施設等の資源をプロット

加西市内の類似施設や集客施設等の分布状況 (学校・子育て支援施設)

加西市では健康福祉会館や市役所、総合教育センターなどで子育てに関する相談を実施しています。また、ほくぶキッズやぜんぼうキッズなど子育てひろばでの相談も実施しています。

加西市の子育て支援窓口

相談内容		場所	日時
妊娠・出産・子育て相談		健康福祉会館 健康課（すくすく相談窓口）	月～金 8：30～17：15
子育て相談		ほくぶキッズ（オークタウン加西） ぜんぼうキッズ（善防公民館）	子育てひろば開園時
子育て・ことば・からだや ゆびさきの発達・療育相談		健康福祉会館 ひまわりルーム （児童療育室）	月～金 9：00～17：00
母子・父子家庭相談		市役所 地域福祉課	月～金 8：30～17：00
子育て相談・養育相談		市役所 家庭児童相談室	月～金 8：30～17：00
DV相談		DV相談室	月～金 9：00～17：00
教育相談		総合教育センター	各相談窓口により変動あり
こどもの発達 支援に関する 窓口	乳幼児	健康福祉会館 健康課 市役所 こども未来課	月～金 8：30～17：00
		健康福祉会館 児童療育室	第2・第4日 9：30～11：30
	学童期・思春期	加西市立総合教育センター	水 16：15～17：00

資料：かさい子育てハンドブック 2022、加西市 HP

(2)施設の利用状況

【保育所・学童保育】

働く女性が増え、加西市の「就学前児童数」は減少傾向となっている一方、「保育所等の在籍数」は増加傾向にあり、その割合は2021(令和3)年では71.7%となっています。

また、加西市の学童保育の入所者数は増加傾向であり、その割合は2015(平成27)年では61.7%でしたが、2021(令和3)年には90.2%と入所者割合が高くなっています。



資料: 就学前児童数: 住民基本台帳(各年4月30日現在)

資料: 保育所等の在籍者数: こども未来課(各年5月1日現在/受託児含む)

保育所等の在籍児童の推移



資料: こども未来課(各年5月1日)

学童保育の推移

4) 市民のニーズと現在の市の施設状況

子育てに関して想定される市民のニーズと、現在の市の施設状況を見ると、以下のような問題点があると考えられます。

- 相談窓口の分散：各年齢層に応じた相談窓口を運用していますが、場所が分散しているために、利便性が低く分かりにくい状況となっています。
- 小学生以上の子どもたちの居場所：乳児や幼児の預かり施設は概ね充実していますが、小学生以上の子どもたちが自分の意志で活用できる居場所が不足しています。
- 特色ある教育の実施場所：加西市はSTEAM教育の推進を掲げていますが、学校施設では十分に対応できないような機能の強化が望まれます。

ニーズ分野	年齢層	出産前	乳児	児童	小学生	中学生	高校生
		大人	相談 妊娠・出産相談 (健康福祉会館) 子育て相談 (健康福祉会館・ほくぷキッズ・ぜんぼうキッズ) 発達・療育相談 (健康福祉会館) 母子・父子家庭相談 (市役所) 子育て相談・養育相談 (市役所) 発達支援相談 (健康福祉会館・市役所)	相談 子育て相談 (健康福祉会館・ほくぷキッズ・ぜんぼうキッズ) 発達・療育相談 (健康福祉会館)	相談 母子・父子家庭相談 (市役所) 子育て相談・養育相談 (市役所)	相談 発達支援相談 (総合教育センター)	相談 発達支援相談 (総合教育センター)
大人	居場所	保護者同士のつながりの場 (ほくぷキッズ・ぜんぼうキッズ等)	保護者同士のつながりの場 (ほくぷキッズ・ぜんぼうキッズ等)	保護者同士のつながりの場 (ほくぷキッズ・ぜんぼうキッズ等)	保護者同士のつながりの場 (ほくぷキッズ・ぜんぼうキッズ等)	保護者同士のつながりの場 (ほくぷキッズ・ぜんぼうキッズ等)	保護者同士のつながりの場 (ほくぷキッズ・ぜんぼうキッズ等)
大人	預かり	一時預かり (認定子ども園・アスモ)	病児保育 (アステリアかさい)	保育園・幼稚園	学童保育 (小学校)	学童保育 (小学校)	学童保育 (小学校)
子ども	遊び・居場所	充実している施設・機能	乳幼児・親子遊び (アスモ)	乳幼児・親子遊び (アスモ)	放課後や休日の遊び場・居場所 学校に行けない子どもたちの居場所	放課後や休日の遊び場・居場所 学校に行けない子どもたちの居場所	放課後や休日の遊び場・居場所 学校に行けない子どもたちの居場所
子ども	教育	学校教育だけでは対応不可	幼児教育・体験	幼児教育・体験	自習 (図書館)	自習 (図書館)	自習 (図書館)
子ども	教育	学校教育だけでは対応不可	幼児教育・体験	幼児教育・体験	特色ある教育・STEAM教育・体験教育 (学校)	特色ある教育・STEAM教育・体験教育 (学校)	特色ある教育・STEAM教育・体験教育 (学校)

 既存施設が整備されているもの
 施設整備のないものでニーズとして必要なもの
 ニーズがないもの

 赤文字：市役所で請け負っている相談
 黄文字：健康福祉会館で請け負っている相談
 白文字：その他の場所で請け負っている相談

市民のニーズと現在の市の施設状況

3. 市民ワークショップ

1) ワークショップの概要

基本構想の策定に向けて、市民(保護者及び児童・生徒)を対象に全3回のワークショップを開催し、加西市における子育てに関する課題や未来型児童館に期待する機能などについて話し合いを行いました。



保護者のワークショップ (第1回ワークショップ)



児童・生徒のワークショップ (第2回ワークショップ)



保護者のワークショップ (第3回ワークショップ)

※弊社撮影

2) 子育て、学びや遊びに対する課題

第1回、第2回ワークショップで出された子育て、学びや遊びに対する課題は以下のとおりです。スポーツのできる場所や自主学習する場所の不足は保護者、児童・生徒ともに課題として捉えています。

また、交通手段についても課題として捉えており、未来型児童館の整備に際しては交通の利便性を考慮する必要があることがわかりました。

加西市の子育てに関する課題

分類	キーワード	保護者	児童・生徒
遊び・スポーツの場	遊び	<ul style="list-style-type: none"> 平日も遊べる場、子どもだけで安全に遊べる場所がない 親子で遊べる場がない 	<ul style="list-style-type: none"> 校区外に出てはいけないルールがあり自由に遊びに行けない ボール遊びやスケボーができない 映画館・ショッピングモール等の遊び場がない
	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> スポーツのできる場所の不足 	<ul style="list-style-type: none"> 身体を使って遊べる施設がない、施設利用にお金がかかる 武道、陸上競技等のできる場所がない
学習の場	学び	<ul style="list-style-type: none"> 小中高生の勉強、自主学習する場の不足 	<ul style="list-style-type: none"> 気軽に利用できる、調べものが可能な無料Wi-Fiの自習室がない 交流しながら学べる場所がない 塾以外でもわからないことを教えてくれる場所がほしい 専門的な本がたくさん置いてある大きな図書館がない
活動・交流の場	活動		<ul style="list-style-type: none"> 防音のスタジオ（音楽・ダンス）などができる場所がない 活動を発表する場、イベントスペースがない 色々な活動、経験ができる場所がほしい
	交流	<ul style="list-style-type: none"> 中学生になる前にもっと小学生同士の交流をもちやすくしたい 	<ul style="list-style-type: none"> 学校にはない部活ができる場所がほしい 外国の人とのコミュニケーション（一緒にゲーム）
相談・支援の場	相談	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童を持つ保護者の交流・情報交換・相談の場がない 子どもが病気の際に預けられる場所がない 	<ul style="list-style-type: none"> 高校や大学、専門学校などのパンフレットがたくさん置いてある場所、進路相談ができる場所がない
	支援	<ul style="list-style-type: none"> 保育所や学童保育のお迎えの時間に間に合わない 何をすることも予約がいる（病気の時、預かりサポート） 	
その他	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 本当に困っている人への情報発信ができていない、ここに来れば安心という場所がない 窓口が分散している 	
	アクセス	<ul style="list-style-type: none"> 道路、通学路が危険 交通の便の悪さ・移動手段 	<ul style="list-style-type: none"> 他の市への交通手段がない 塾、図書館が遠い

		の確保	
--	--	-----	--

※赤文字は共通の意見

3) 未来型児童館への期待

未来型児童館に期待する機能や空間の質は、第1回及び第2回のワークショップの結果を踏まえ、「遊び・スポーツ」「学び・活動・交流」「相談・支援・その他」の3つの区分で整理できます。

【遊び・スポーツ】

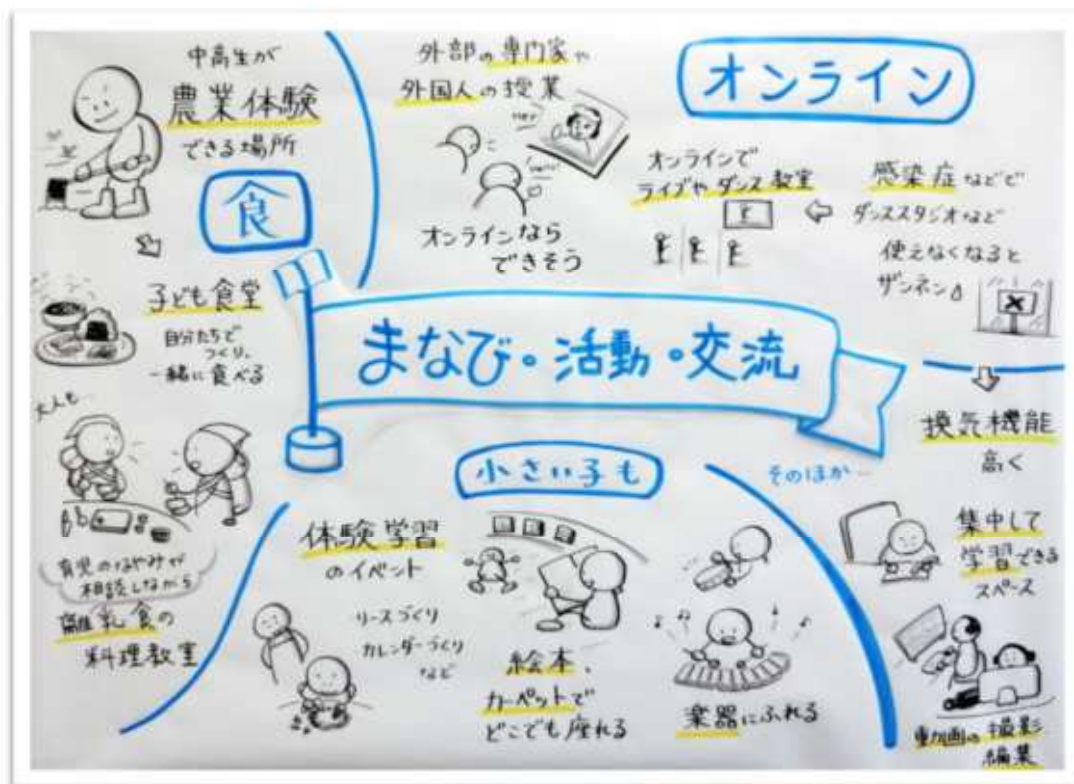
諸室・機能	第2回 WS (児童・生徒) で出た意見	←に対する第3回 WS (保護者) の意見
屋内の遊び空間	<ul style="list-style-type: none"> • 楽しみながら遊び学べるワークスペース • 科学的な遊び場 • 映画館、ボーリング、カラオケ、プラネタリウム 	<ul style="list-style-type: none"> • 科学のインストラクターによるファシリテーション • 親も使いたい/大人も楽しめる • 民間に入ってもらって継続的に使えると良い
屋内スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> • 室内アスレチック • 中高生に限らず、小さい子も遊べる場所 • e-スポーツなど最新の技術で体を動かせる場所 • 室内スポーツ・武道ができる体育館 	<ul style="list-style-type: none"> • ハンモックは人気 • 大きい子と小さい子を分けられると安全・安心 • トレーナーやインストラクターをつけてほしい
屋外遊具	<ul style="list-style-type: none"> • アスレチックができる場所 	<ul style="list-style-type: none"> • 事故のないように見ておく人が必要
屋外スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> • 球技ができるグラウンド・プール • スケートボードができる場所 	<ul style="list-style-type: none"> • サッカーゴールやバスケットゴールの設置 • 小規模でもプールがあるとよい
休憩スペース	<ul style="list-style-type: none"> • 外遊びの休憩施設 (木陰やベンチ等) 	<ul style="list-style-type: none"> • 赤ちゃんがハイハイできる、飲食可能な芝生広場がほしい



遊び・スポーツに関して未来型児童館に期待すること (第3回ワークショップ)

【学び・活動・交流】

諸室・機能	第2回WS(児童・生徒)で出た意見	←に対する第3回WS(保護者)の意見
自習室	<ul style="list-style-type: none"> 調べものがしやすく、一人で静かに勉強ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 一人で集中して学習できるスペースを増やす
学びあいができる学習室	<ul style="list-style-type: none"> 友達と話し合いや教え合いができる 気軽に先輩に勉強を教えてもらえる 	-
専門的な勉強のできる場所	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な本が読める、研究、調べものができる 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインで専門家の授業を受けられる設備とスペース
幼児向けの学習スペース	-	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の英語、異文化教育用のコンテンツ 小さい子向けの絵本が読めるスペース
屋外空間での学習環境	<ul style="list-style-type: none"> 古代鏡の研究 農業や酪農を身近に感じられる場所 	<ul style="list-style-type: none"> 中高生が農業体験できる場所
調理室	<ul style="list-style-type: none"> 加西市の野菜を使ってみんなで調理して、一緒に食べられる場 	<ul style="list-style-type: none"> 離乳食の料理教室 子ども食堂
工作室	<ul style="list-style-type: none"> 加西市の木を使った工作体験 	<ul style="list-style-type: none"> 小さい子向けの学習体験
音楽・ダンススペース	<ul style="list-style-type: none"> 色々な楽器を体験できる防音スペース 音響が良くて空調が整ったダンススタジオ 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器を持ち込んで演奏できる部屋 小さい子が遊べる楽器を置く部屋
イベント・交流スペース、発表の場	<ul style="list-style-type: none"> 多文化交流ができる場 大人数が入れるイベント施設 誰でも来ることができるステージ 	<ul style="list-style-type: none"> 多国籍の子ども同士の交流の場 異なる学校の生徒と一緒にスポーツができる場



相談・支援・その他に関して未来型児童館に期待すること（第3回ワークショップ）

【トピック】児童・生徒ワークショップの結果

① **あそびやまなびに対する想い・課題**

加西市未来型児童館 第2回ワークショップ 令和4年12月3日(土)

あそべる場所が近くにない

一緒に勉強したい・教え合いたい

ダンスや楽器、武道の練習や発表をしたい

体を動かせる施設にお金がかかる

ボールあそびやスケボーが制限されている

塾や図書館が遠い

進路を相談したい

色んな活動、経験（自然を体験した体験、外国人との交流など）ができる場所がほしい

多動手段がない

自習室がうるさい

小さい子もあそべる

学校ではできないような体験ができる

何回もおとすれたいからしかず（ポイントなど）

室内でもたのしめる

しずかにもあそべる

音楽やダンスの練習、発表ができる

料理や工作ができる

休憩ができる

進路などの相談ができる

体をうごかせる

② **未来型児童館に期待する機能や空間の質**

加西市未来型児童館 第2回ワークショップ 令和4年12月3日(土)

まなび

あそび

活動

そのほか

室内でもたのしめる

しずかにもあそべる

音楽やダンスの練習、発表ができる

料理や工作ができる

休憩ができる

進路などの相談ができる

体をうごかせる

学校ではできないような体験ができる

何回もおとすれたいからしかず（ポイントなど）

未来型児童館に期待すること（第2回ワークショップ）

4. 加西市の子育てに関する課題

子どもたちをとりまく動向・社会潮流、加西市の子育てに関する現状や市民ニーズ等を踏まえ未来型児童館整備における課題を以下のように設定します。

遊ばせ・遊び場

【社会潮流】

- 安全で安心して過ごせる多くの居場所を持つ

【加西市の現状】

- 小学生～高校生までの放課後や休日の居場所が不足

【ワークショップ】

- 屋内・屋外を問わず子どもたちが関心を持っていること、やりたい活動ができる場等が不足

様々な年齢層の子どもが、それぞれやりたいことができる環境が必要

学び・活動・発表

【社会潮流】

- 様々な学びや体験ができる
- 超スマート社会(Society5.0)の到来等様々な学びの環境に対応可能な環境が不足

【加西市の現状】

- 学校だけでは対応できない STEAM 教育や多様性・個性ある教育を先導する機能の強化が望まれる

【ワークショップ】

- 自主学習する場が不足
- 学校ではできない様々な活動や発表する場が不足

子どもたちに様々な学びや体験を提供し発表する場所が必要

相談・支援・その他

【社会潮流】

- 一連の成長過程において、良質かつ適切な保健、医療、療育、福祉、教育を提供
- 全ての子どもが、施策対象として取り残されることなく、当事者として持続可能な社会の実現に参画できるよう支援

【加西市の現状】

- 子育てに関する相談窓口等の機能が健康福祉会館、市役所などに分散し、利便性が低く分かりにくい

【ワークショップ】

- 気軽に相談や会話のできる場や専門のスタッフがいる相談の場がない
- 仕事している人が相談窓口を利用できない

保護者が安心して子どもと共に過ごせ、様々な相談に対応ができる窓口の集約化や仕組みが必要

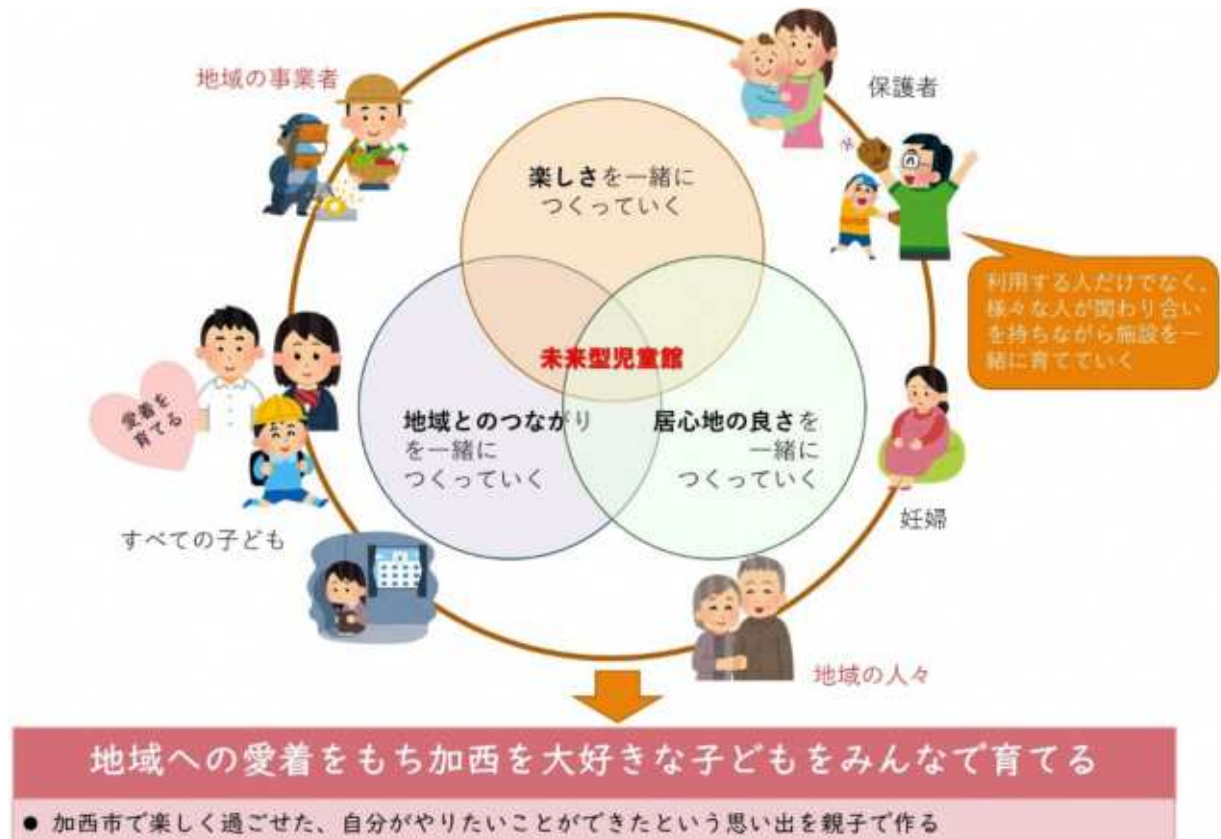
第3章 施設の目指す姿

1. 基本コンセプト

1) 未来型児童館の役割・利用者

未来型児童館は、加西市の子育てに関する課題を踏まえ、小学生～高校生までの児童・生徒の放課後や休日の居場所、学校だけでは対応できない STEAM 教育や多様性・個性ある教育を実現する場所として整備していくことが求められます。また、加西市が将来に渡って子育て層に選ばれ続けるまちになるため、子どもたちが成長を通して加西市に愛着を持ち、進学や就職にて一度は市外に転出したとしても、子育てをする際には加西市に帰ってきたくするような循環をつくるのが重要です。このような好循環を生み出すためにも、子どもたちが地域とのつながりを感じながら成長し、目標を見つけ、目標に向かって挑戦していけるような環境や仕組みを、未来型児童館を核として作っていきます。

そのため、未来型児童館は、児童館を利用する保護者や子どもたちだけでなく、地域の人々や事業者など市内全ての人々が関わり合いながら、関係者の皆さんと「楽しさ」「居心地の良さ」「地域とのつながり」を一緒に作り、加西市全体で子どもたちの成長を見守り、応援していく場所とします。

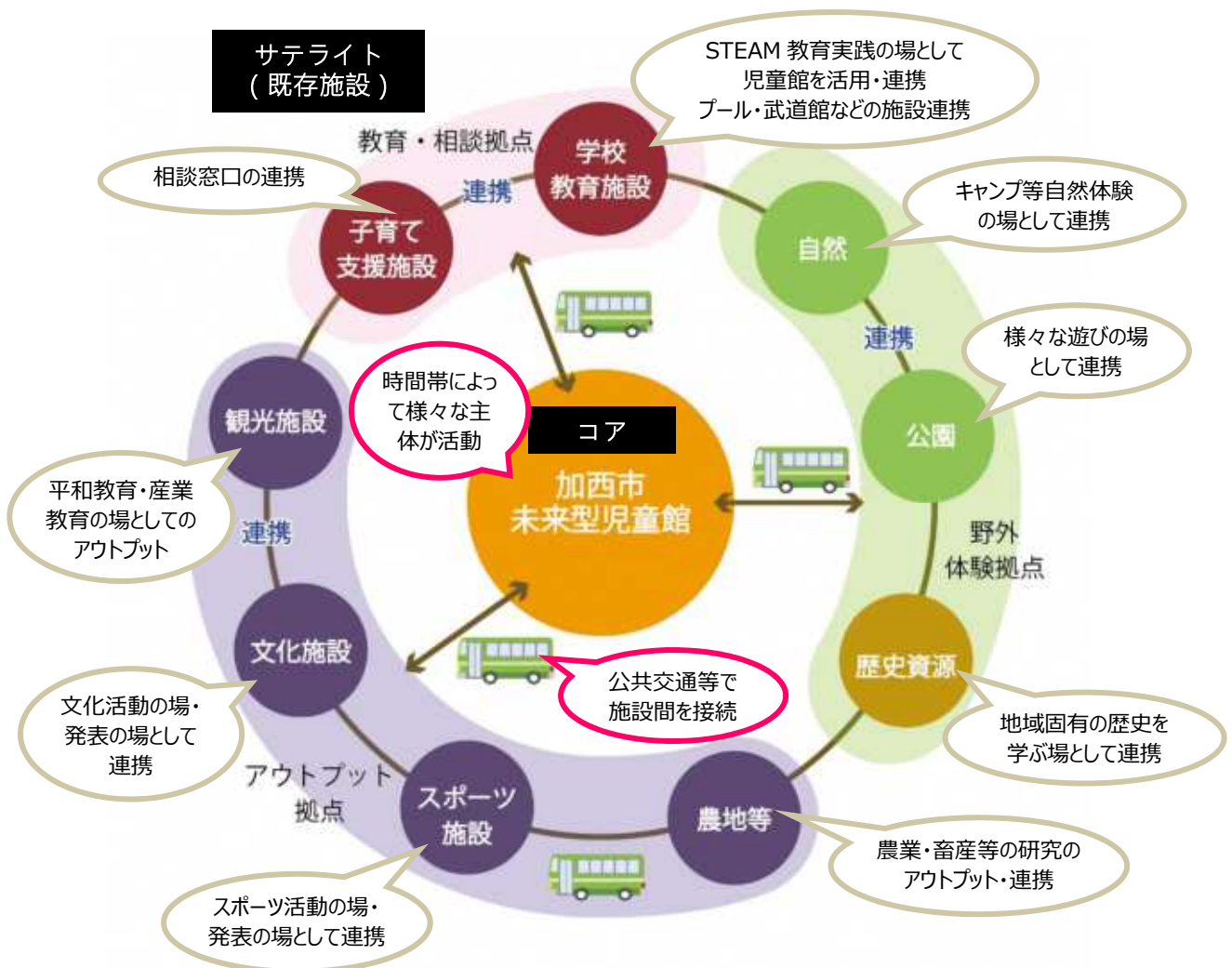


未来型児童館の役割

2) 施設整備の考え方

未来型児童館で全ての機能を充足させるのではなく、市全体の既存施設等と連携しながら、子どもたちがやりたいこと、学びたいこと、体験したいことができ、保護者が安心して子育てができる魅力的な環境を創出していきます。その核(コア施設)として未来型児童館を位置づけます。

- 児童館(コア)だけで完結するのではなく、市内の様々な施設(サテライト)と連携させることで、子どもたちの遊びや学びの幅を広げるとともに機能の重複を避けます
- 子どもたちが知識や体験を蓄える(インプット)だけでなく、それを社会に披露する(アウトプット)場を市内各所と連携して確保し、新たな学びや挑戦の動機づけとします
- 児童館内施設の空き状況確認・予約だけでなく、コアとしてサテライトの各施設の予約や巡回図書館などの取組を実施することで、子どもたちの利便性を高めます
- 相談窓口アプリや予約システムアプリ、利用に応じてポイントを付加するシステムなどにより、毎日のように行きたくなる、利用したくなる児童館とします
- コアとサテライト間において公共交通等でアクセス性を高める等、子どもだけでも安全に児童館にアクセスできる環境を整備します



未来型児童館と各拠点の関係

3) 未来型児童館のコンセプト

以上のことから、未来型児童館のコンセプトや方向性は以下の通りとします。

【未来型児童館のコンセプト】

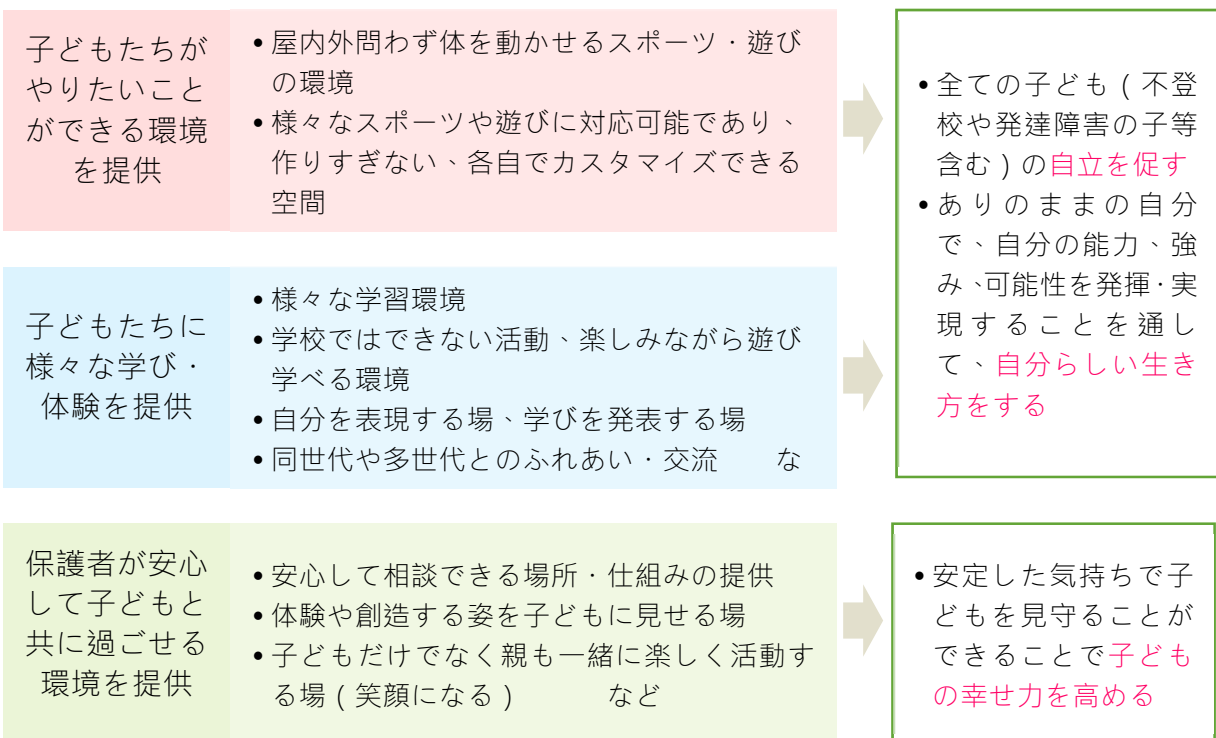


- 子どもの頃の、「やりたい！」という気持ちや、「できた！」という経験が、子ども自身の未来に繋がり、自己肯定感を高め、自分らしい生き方、未来を考えていく力となります。
- 子どもたちの“なりたい未来”を見つけ、各自のペースでその実現に向けて挑戦できる環境を提供します。その切り口として、遊びやスポーツ、STEAMをはじめとする加西での学びの場所として児童館を整備し、子どもたちが集う場所とします。
- 子どもたちが夢や希望を叶えるため、加西市内の様々な人・機能・施設を繋げながら、夢に向かって挑戦する子どもたちを加西市の関係者全員で応援する場とします。
- また、子どもたちが安心して“未来”を見つけることができることができるよう、家族が安定した気持ちで子どもたちの成長を見守ることができる環境を整えます。

【施設の方向性】

【施設整備の方向性】

【子ども・保護者の】



2. 導入機能

未来型児童館は、年齢や所属の枠を超え、子どもたちが自由に来館し、一緒に交流することで、子どもたちがやりたいこと、学びたいこと、体験したいことができる拠点施設として整備します。また、保護者が安心して子育てができる魅力的な環境を提供し、子育て支援を通じて保護者の交流や地域社会の交流の拠点となるような施設とします。

当面コロナの影響は避けられず、また高齢化と生産年齢人口の減少に伴い、市税収入は減少していくことが想定され、加えて、社会保障経費や公共施設の更新・改修費用などの増加が予想される中、市民ニーズを全て満たす未来型児童館の整備は大変難しい状況です。

そのため、施設整備の考え方で述べたように未来型児童館を核(コア施設)とし、既存の公共施設や民間施設と連携しながら市民ニーズに対応します。

導入機能は、3つの施設の方向性を踏まえるとともに以下の視点より設定します。

【導入機能の考え方】

- 1・児童館(大型児童センター)として必須及び必要に応じて導入すべきものを導入機能とする
 - 児童館(大型児童センター)として必須とされる集会室、遊戯室(屋内における体力増進指導・文化活動、芸術活動対応)、図書室及び執務室を導入機能とする。
 - 児童館(大型児童センター)として必須とされる屋外における体力増進指導を実施するために要する適当な広場を導入機能とする。
 - 児童館(大型児童センター)として必要に応じて導入すべき機能である年長児童を育成するための設備及び社会参加活動の拠点として活用するための設備(スタジオ、アトリエ、トレーニング室、小ホール、ライブラリー、喫茶室等)を導入機能とする。
- 2・加西市として整備が必要なもの(全ての子どもが取り残されることがない)を導入機能とする
 - 発達障害児対応、不登校支援など全ての子どもが利用する施設を導入機能とする。
 - 自主学习スペースや様々な年齢層に望まれる多種多様な学びスペースなど現況で不足している機能を導入機能とする。
 - STEAM教育など市のめざす教育に資する機能を導入機能とする。
 - 保護者が安心して子どもと共に過ごせ、様々な相談に対応ができる集約した窓口機能を導入機能とする。

導入機能

施設の方向性	中分類	導入機能	導入機能の利用イメージ
子どもたちがやりたいことができる環境を提供 (遊び・スポーツ)	天候に左右されない屋内の遊び空間	アクティブホール (室内遊具施設)	<ul style="list-style-type: none"> 屋内アスレチックなどの遊具で体を動かすことができる VRを活用したバーチャルトリップ等の疑似体験ができる
	安全に遊べる屋外の遊び空間	広場 (芝生広場)	<ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃん連れ親子や小さな子どもがくつろぎ、インクルーシブ遊具等で遊ぶことができる ベンチで保護者が子どもたちを見守ることができる 子どもたちが児童館で制作した商品を販売する模擬店等のイベントができる
	多様なスポーツができる屋内外のスポーツの場	アクティブホール (室内運動施設) 広場(グラウンド)	<ul style="list-style-type: none"> ランニングマシン等を使用したトレーニングができる 親子で楽しめる球技、ニュースポーツができる プレイパーク型グラウンドでやりたいことができる
子どもたちに様々な学び・体験を提供 (学び・活動・交流)	学びに対応した様々な学習の場	自習室	<ul style="list-style-type: none"> 仕切り付きデスク等により個人で集中して勉強ができる
		学びあい学習室	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒が話し合いながらグループワークができる(交流カフェとの相互利用も可能)
		DXルーム	<ul style="list-style-type: none"> インターネットでの調べものや映画等の視聴、e-スポーツ等ができる アダプティブラーニングで個人にあわせた学びができる 学校に行けない児童・生徒がオンライン同時授業を受けたりメタバース空間を活用した学校登校体験ができる
		専門学習室(図書室)	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な図書や幼児向けの絵本が読める 朝活や巡回図書館、お話し会、専門分野の講演会などのイベントができる
	学校ではできない活動・自分を表現する活動の場	音楽スタジオ	<ul style="list-style-type: none"> 様々な楽器が完備された音楽室で練習ができる 自分で楽器を作って自由に音楽を楽しむことができる AV編集・制作ブースではボーカロイド音楽作成や音楽編集、映像編集等ができる
		ダンススタジオ	<ul style="list-style-type: none"> 友達と気兼ねなく集まってダンスができる
	楽しみ・遊びながら学べる体験の場	調理室	<ul style="list-style-type: none"> 地域の産品で料理を作り、加西市の産業や伝統への理解を深める(食育) 身近な食材の不思議に触れ、科学について学ぶことができる
		ものづくりラボ (工作・実験室)	<ul style="list-style-type: none"> 身近な科学現象をテーマにした科学体験ができる ロボット工学プログラミングなどができる 人体の構造などVRを使った疑似体験学習ができる 様々な質感の素材を使用し、自由に考えながら工作(ものづくり体験)ができる
	同世代や多世代とのふれあい・交流の場	交流カフェ	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒が話し合いながらグループワークができる(学びあい学習室との相互利用も可能) 曜日により地元食材が販売される市の開催など地域住民との交流ができる
		多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> 音楽や美術の創作活動や練習、発表、展示を通して交流できる 児童・生徒、インストラクターやクリエイターが交流・刺激しあい、新しい挑戦につなげる
保護者が安心して子どもと共に過ごせる環境を提供 (相談・支援)	安心して相談できる場所・仕組みの提供	相談室	<ul style="list-style-type: none"> 専門職員に対して教育や発育に関する相談ができる 小さな子どもを遊ばせながら相談ができる 夜間の相談や相談アプリなどにより気軽に相談ができる
		交流カフェ(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士が飲食などをしながら相談や交流ができる
	進路を相談できる場	交流カフェ(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> 高校・大学等のパンフレットが置いてあり自由にみられる 他学年に学校の情報などを聞くことができる
	困っている子どもを支援する場	相談室(再掲) 調理室(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの不安を共有し、解決に向けた支援ができる 気軽に子どもたちが集まり食事ができる

施設の方 向性	中分類	導入機能	導入機能の利用イメージ
		掲)	

※赤文字は STEAM 教育に関する事項です。

※機能の兼用や多目的化により過大な施設整備にならないよう引き続き検討します。

【施設利用のイメージ例】

未来型児童館は、休日だけでなく、終日様々な人々が利用する場所とします。以下に平日の昼・夜の利用イメージを示します。

■昼間の利用イメージ

<屋外>

広場（グラウンド）

外遊び



広場（芝生広場）

歩く練習や子育て中の保護者と交流



昼間は妊婦や小さな子ども連れの保護者が中心に施設を利用。また、学校に行けない子等が自主学习や興味のある学びをする場として施設を利用。

アクティブホール

<屋内>

学校に行けない子が室内でスポーツを楽しむ



自分が学びたい電気化学を勉強



ものづくりラボ

相談室

子育て中のお母さんが専門員に子育て相談



DXルーム

音楽スタジオ

楽器の自主練習



オンライン学習

■放課後・夜間の利用イメージ

<屋外>

広場（グラウンド）

高校生がBMXやスケボアの練習



広場（芝生広場）

小学生・中学生が鬼ごっこや芝生でゲーム



放課後・夜間は、学校帰りの小中高生が自習やみんなで学習する場、興味のある活動をする場として施設を利用。また、働いている方に対応し、夜間の相談窓口を開設。

アクティブホール

<屋内>

ボルダリングの練習や室内スポーツを楽しむ



専門的な勉強



専門学習室

相談室

働いている方が子育て相談に訪れる



学びあい学習室

ダンススタジオ

ダンスの練習



みんなで教えあいがら宿題

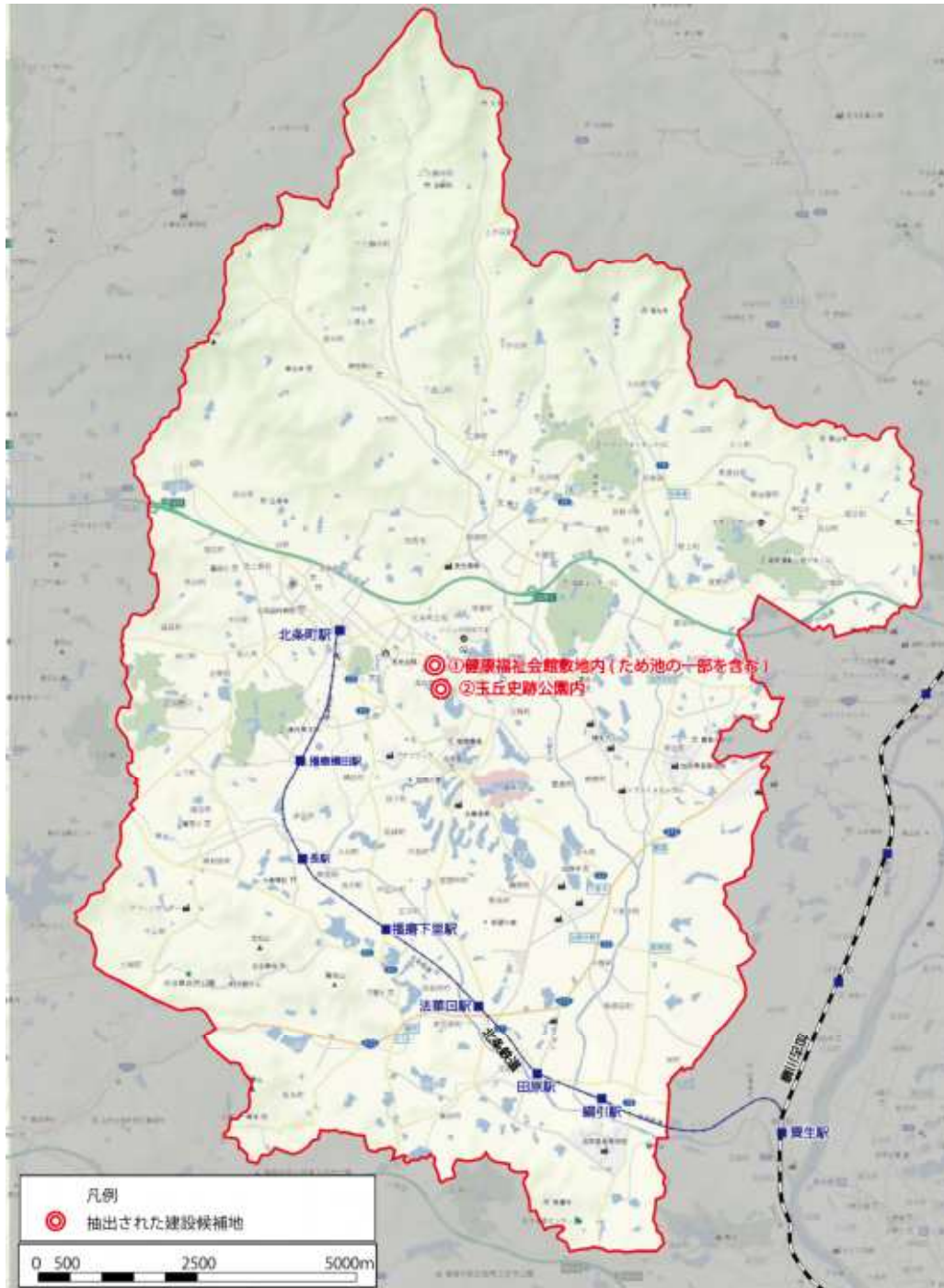
第4章 建設候補地の検討

1) 建設候補地について

建設地は令和3年度に実施した未来型児童館 WG で建設候補地として挙げられていた

- ①健康福祉社会館敷地内(ため池の一部を含む)
- ②玉丘史跡公園内

の二箇所について比較検討して決定します。



出典:© NTT インフラネット

※© NTT インフラネットの図をもとに建設候補地をプロット

建設候補地の立地

2) 評価項目の設定

各候補地の立地条件やメリット・デメリットを把握するために評価のポイントを整理し、以下の二つの視点から評価を行います。

(1)交通の利便性に関する視点

- ・第1回、第2回ワークショップで保護者からも児童・生徒からも課題として捉えられていた交通の利便性について評価します。

(2)事業性に関する視点

- ・事業を行うに当たっての課題等について評価します。

(1)交通の利便性に関する視点

I アクセス性

①中心市街地からのアクセス性(児童・生徒・保護者目線)

- ・関連上位計画より、施設配置においては都市機能を集約させる方向性が位置づけられています。中心市街地に近い立地ほど、保護者による児童・生徒の送り迎えのしやすさなどから利便性が高いと考えられるため、中心市街地である北条町駅からの距離(直線)を評価します。

⇒「～1.0 km以内:◎」「1.0 km超～2.0 km以内:○」「2.0 km超～:△」

②公共交通機関によるアクセス性(児童・生徒目線)

- ・児童・生徒が気軽に一人でも訪れるようにするため、電車、コミュニティバス(KASAI ねっぴ～号)、路線バス(神姫バス)を利用したアクセスのしやすさを評価します。なお、電車については①と重複評価となるため本項目の評価項目から除くこととします。

⇒最寄りのバス停が平日に停車するコミュニティバス・路線バスの系統数:

「5系統以上:◎」「1系統以上5系統未満:○」「0系統:△」

③周辺教育機関(小・中・高校)からのアクセス性(児童・生徒目線)

- ・児童・生徒が気軽に一人でも訪れるようにするため、[徒歩 20 分以内、自転車7分以内⇒2km 圏内]の周辺教育機関(小・中・高校)の件数を評価します。

⇒「4件以上:◎」「3件:○」「2件以下:△」

II 施設連携の可能性

④拠点施設としての適性

- ・未来型児童館は加西市の子ども・子育ての総合的な拠点施設とします。その上で関連施設との連携が重要となるため、[徒歩 20 分以内、自転車7分以内⇒2km 圏内]の次の施設の件数を評価します。

子育て関連施設→認定こども園及び小規模保育所、つどいの広場(地域子育て支援拠点)、

こども食堂、子育て支援機能のある公共施設等

運動施設 →公園、体育館等

集客施設 →大規模商業施設、集客施設等

⇒「10 件以上:◎」「5件以上 10 件未満:○」「5件未満:△」

(2)事業性に関する視点

①法的条件

・法的な条件(都市計画法(用途地域上の建築制限)・農振法(農振農用区域の有無)・文化財保護法(周知の埋蔵文化財包蔵地の有無))の課題について評価します。

②工事の特殊性

・各候補地で必要な工事の特殊性について評価します。

③工期の確実性

・工期の確実性を評価します。



④経済性

・建設コストの増大要素について評価します。

3) 建設候補地の比較評価

各候補地について比較評価を行った結果を以下に示します。

交通の利便性に関する比較評価

候補地		① 健康福祉会館敷地内 (ため池の一部を含む)		② 玉丘史跡公園内	
項目					
概要	敷地範囲				
	用途地域	市街化区域 第一種住居専用地域・第二種住居地域		市街化調整区域	
	建蔽率 容積率	50%・60% 100%・200%		60% 200%	
	高さ制限	10m		—	
	敷地周辺環境	隣接地にため池、その周囲は住宅地。		西側隣地は住宅地、他三方は田畑。	
評価項目	①中心市街地からのアクセス性	・北条町駅から約 1.6km	○	・北条町駅から約 2.0km	○
	②公共交通機関によるアクセス性	・コミュニティバス:4系統 (市街地線、国正線、九会線、sora かさい線)	○	・コミュニティバス:1系統 (sora かさい線)	○
		・路線バス:6系統 (八千代～北条線、姫路～北条線 61・62・81 系統、社～北条線、宝殿～北条線) [最寄りのバス停:健康福祉会館、古坂3丁目]	◎	・路線バス:5系統 (姫路～北条線 61・62・81 系統、社～北条線、宝殿～北条線) [最寄りのバス停:玉丘史跡公園、玉丘町]	◎
	③周辺教育機関からのアクセス性	・3件 (小学校1件、中学0件、高校2件)	○	・3件 (小学校1件、中学0件、高校2件)	○
④拠点施設としての適性	・22件 (子育て関連施設 11 件、運動施設 7件、集客施設4件)	◎	・23件 (子育て関連施設 12 件、運動施設 7件、集客施設4件)	◎	

※◎ NTT インフラネットの図をもとに敷地をプロット

凡例:◎:優れる ○:標準的 △:課題がある

事業性に関する比較評価と利用者目線のメリット

候補地 項目		① 健康福祉会館敷地内 (ため池の一部を含む)	② 玉丘史跡公園内
評価項目	① 法的条件	<ul style="list-style-type: none"> ・第一種住居専用地域が適用されるが、児童館(児童厚生施設)は延べ面積600㎡以下しか建てる事が出来ない。 ⇒用途地域上は建築不可であるが、建築基準法 48 条許可(用途地域の緩和許可)により建築可能であり、設計段階において所定の協議、説明会等を実施することにより対応可能な課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域のため現況の用途地域では建築不可である。 ⇒建築するためには地区計画の策定が必要(県との協議)となるが、その実現性に課題があるとともに、協議に時間を要することが想定される。
	農振法埋文法	<ul style="list-style-type: none"> ・農振農用地区域外。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農振農用地区域外。
	② 工事の特殊性	<ul style="list-style-type: none"> ・ため池の埋め立てが必要となるため、埋め立て範囲の盛土工事、護岸工事が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊な工事は不要。
	③ 工期の確実性	<ul style="list-style-type: none"> ・問題ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財の存否によっては、発掘調査が必要となり、工期が遅れる可能性がある。 ・史跡玉丘古墳群整備(修復)基本計画との調整を図る必要があるため、公園全体の再整備の検討や所管課との協議が必要である。
	④ 経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・ため池の埋め立ての盛土・護岸設置工事に 6,000 万円程度の費用がかかる。また、今後詳細の調査を行い圧密沈下による対策等が必要と判断された場合には追加で費用が発生する可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財の確認調査には費用がほぼかからないが、確認調査の結果、整備場所での発掘調査が必要となった場合、㎡あたり3万円程度の調査費用が発生する。
利用者目線のメリット		<ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉会館内に児童療育室や健診室といった子育て支援機能があり、既に市民から認知されていることから、相談窓口をはじめとする子育て機能を集約した際にも、今以上の活用頻度が期待できる。 ・健康福祉会館内のホールとの一体的な利用など、新たに整備する児童館との相互利用も想定され、子育ての拠点としての機能の存分な発揮が期待できる。 ・健康福祉会館はお年寄りも含めた多世代が利用する施設であるため、児童館における多世代交流の促進も期待され、多様な市民の利用が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玉丘史跡公園内に遺跡や古代農園といった歴史学習に適した資源があり、まちの歴史を学習する意識の醸成が期待できる。 ・玉丘史跡公園内には広大なオープンスペースとともに大型遊具があり、既に親子の遊び場として認知されていることから、継続して親子での利用が期待できる。
総合評価		選定	非選定

凡例 ○:標準的 △:やや課題がある ▲:重大な課題がある

以上の比較検討より、交通の利便性については二つの候補地に大きな差がないことが分かりました。事業性については、「①健康福祉会館敷地内」は都市計画法についてやや課題がありますが、設計段階で所定の対応を行うことで十分対応可能な課題と考えます。「②玉丘史跡公園内」は都市計画法について地区計画の策定の実現性に課題があります。また、埋蔵文化財の存否によっては、発掘調査のため工期の遅れやコストが増大するリスクがあります。

これらの結果を踏まえ、未来型児童館の建設地は「①健康福祉会館敷地内」とします。

第5章 未来型児童館の事業スキーム

第3回庁内検討委員会での協議を予定